



太田川・小瀬川における 主な出水状況と対応

写真左上:奥迫川救急内水排水機場
左下:矢口川救急内水排水機場

中上:奥迫川で稼働中の排水ポンプ車
中下:矢口川で稼働中の排水ポンプ車

右上:河川巡視
右下:流量観測調査

降雨により太田川や小瀬川の河川水位が上昇したため、河川水が支川や宅地等に逆流しないように、順次、水門・樋門の閉鎖を行いました(右上)。

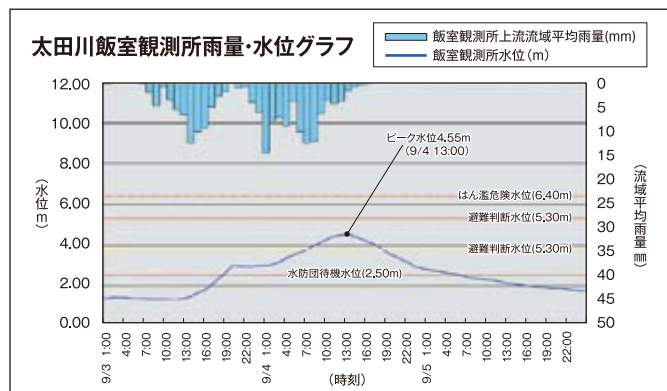
水門・樋門を閉鎖すれば堤防の外側(河川側)からの水の進入を防ぐことはできますが、堤防の内側(宅地側)に降った雨水を排出することができないことから、宅地側の水位を下げるため、奥迫川や矢口川の排水機場及び排水ポンプ車が稼働しました(左上下・中上下)。

これらとあわせて、河川の巡視や流量観測等の調査も並行して実施しました(右下)。

出水時、出水後の対応

平成25年9月3日、西日本に停滞した前線に南から暖かく湿った空気が流れ込み、太田川・小瀬川流域では、同日8時から4日16時まで降雨がありました。太田川の飯室観測所では、上流流域平均雨量が14.3mm、ピーク水位が4.55mに達し、はん濫注意水位を超過しました。その他の観測所の水位でも、小瀬川の『小川津』でははん濫注意水位を超過し、太田川の『土居、加計、中野、矢口第一、祇園大橋』、三篠川の『中深川』、根谷川の『新川橋』、小瀬川の『両国橋』で水防団待機水位を超過する洪水でした。

太田川・小瀬川とも避難判断水位を超過する水位上昇はありましたが、雨の降り方は、短期集中型の傾向が見られました。



国土交通功労者を表彰

国土交通省では、毎年、国土交通行政に功績のあった方を対象に国土交通功労者として表彰を行っています。このうち太田川・小瀬川において、水門等操作員として長年にわたり水門・樋門・樋管の操作点検に従事されている方や今年退職された方々に対する、中国地方整備局長表彰伝達・太田川河川事務所長表彰の式を7月22日から8月28日にかけて太田川河川事務所、安芸太田町役場、安佐北区役所、安佐南区役所で行いました。

今年の対象者は、勤続40年表彰は2名、30年表彰は2名、20年表彰は5名、10年表彰は7名、退職者は59名で、出席された方々には事務所長から表彰伝達がなされました。

また、7月16日には、優良工事施工団体3社、優良業務請負団体3社、優良建設技術者5名の太田川河川事務所長表彰を行いました。



太田川河川事務所



安芸太田町



安佐南区



安佐北区

「キャンプ砂防in広島」で 現役大学生が砂防を 学びました

砂防を学ぶ現役大学生3名をキャンプ生として招き、9月3日～6日の4日間の日程で「平成25年度キャンプ砂防in広島」を実施しました。

「キャンプ砂防」は、国土交通省が砂防の技術者を目指す学生を対象に、実際の現場で砂防を学ぶことを目的として毎年、全国各地で実施しています。

キャンプ生は、太田川河川事務所が実施している広島西部山系直轄砂防事業の現場で山の斜面にまで広がる住宅街の間近で工事を実施している様子を見るなど事業の特徴や現状を学んだほか、日本三景や世界遺産の登録といった県内有数の

観光地である宮島で広島県が実施した砂防事業（紅葉谷の庭園砂防や白糸川災害復旧）を見学し、広島特有の砂防事業に深く興味を抱いていました。

参加したキャンプ生は、今後全国で展開する砂防事業を担う技術者として活躍することが期待されます。



平成25年度キャンプ砂防in広島の様子

平成25年7月28日 山口・島根豪雨に 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)が 被災地に集結!!

山口県内で観測史上最大・
全国でも11番目の雨を観測

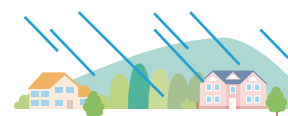
平成25年7月26日から8月2日にかけて、

暖かく湿った空気の流れ込みにより、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、各地で局地的に激しい雨が降りました。山口県と島根県では、7月28日の午前中を中心に記録的な大雨となり、山口県萩市須佐で3時間雨量が301.5mm、島根県津和野町で3時間雨量が197.5mmを記録し、各地で家屋の浸水や土石流、崖崩れ等による家屋の全半壊が発生し、河川・道路の各施設で被害が発生しました。

そのため、7月28日から8月8日に

かけて、山口・島根県の被災地に近畿、中国、四国、九州の各整備局から1,178人のTEC-FORCE隊員等(リエゾンを含む)が派遣されました。太田川河川事務所からも12人を派遣し、早期の災害復旧に向けて、写真のような堤防の崩壊箇所や土石流発生箇所の現地調査にあたりました。

そのほか、排水ポンプ車や照明車などの災害対策機械も81台・日派遣され、現地の復旧作業の支援にあたりました。



早期の災害復旧に向けた調査の様子



堤防の崩壊箇所の調査(山口県萩市内)



土石流発生箇所の調査(山口県萩市内)

テック フォース TEC-FORCE・リエゾンとは?



早期の災害復旧に向けた内業作業の様子

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)とは、大規模な自然災害発生時に被災状況の把握や被災地地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のため技術的な支援を迅速に実施することです。リエゾン(現地情報連絡員)とは、大規模な自然災害発生時等に中国地方整備局災害本部と被災地自治体との災害情報等の交換のため、被災地地方自治体に派遣される職員のことです。

水生生物調査を 実施しました!!

国土交通省では、昭和59年から小中学生や高校生を中心に「水生生物による水質の簡易調査」を実施しています。

川の中の、石の下や茂みに住んでいる生物を調べること、その地点の水質の状況が「きれいな水」「ややきれいな水」「きたない水」とてもきたない水」の4階級の水質階級で分けることができます。このような河川の水質を教えてくれる水生生物を「指標生物」と呼んでいます。川遊び感覚で楽しみながら調査でき、川を寄り身近に感じ、水質保全の関心を高められる機会にもなっています。

今年度は、7月10日から9月19日にかけて10団体約250名の参加のもと、下図の地点で調査を実施しました。

来年もこの良好な水質が維持できるよう皆様のご協力のほど、よろしく願っています。
なお、調査結果の詳細は、過去の調査結果も含めて太田川河川事務所のホームページで公表しています。



小川津付近での水生生物の採取の様子



新轟橋付近での水生生物の確認の様子



■水生生物による水質の簡易調査 「平成25年度実施結果」

凡例

水系名	調査地点名	調査月日	H24判定 水質階級
河川名	調査団体名等(参加人数)		H25判定 水質階級

水質階級を4階級で判定しています。

- きれいな水
- ややきれいな水
- きたない水
- とてもきたない水

太田川	①柴木川下流	7/10	
太田川	安芸太田町立戸内中学校(29)		
太田川	②新轟橋	7/11	
太田川	安芸太田町立殿賀小学校 安芸太田町立上殿小学校(12)		

小瀬川	②御堂原	9/17	
小瀬川	大竹市立大竹小学校(37)		

小瀬川	①小川津	9/17	
小瀬川	大竹市立大竹小学校(37)		

小瀬川	③両国橋	9/17	
小瀬川	大竹市立大竹小学校(37)		

太田川	③加計	7/12	
太田川	広島県立加計高等学校(19)		

太田川	④高山川下流	7/10	
太田川	広島市立小河内小学校(7)		

太田川	⑤壬辰橋	9/19	
太田川	広島市立久地小学校(20)		

太田川	⑥太田川橋	7/31	
太田川	広島県立可部高等学校(6)		

太田川	⑧新川橋	7/31	
根谷川	広島県立可部高等学校(6)		

太田川	⑨深川橋	9/16	
三篠川	太田川河川事務所(3)		

太田川	⑦安佐大橋	8/29	
太田川	広島県立祇園北高等学校(20)		

太田川	⑩第一古川	9/19	
古川	太田川河川事務所(3)		

太田川	⑪第二古川	9/19	
古川	太田川河川事務所(3)		

太田川	⑫大下	8/1	
古川	広島市立東原中学校(24)		

太田川	⑬神田橋	8/1	
古川	広島市立東原中学校(24)		

太田川	⑭松原橋	8/1	
古川	広島市立東原中学校(24)		

